

市民との意見交換会(令和元年5月22日・24日)会議記録

会場	質問・意見	区分	内容	意見等	回答等
高田区	質問	報酬	1	・大学卒業後、上越に戻り地元のために働きたい。例えば20代で当選して、報酬だけで生計が成り立つかどうか。市議は保証がない。この点を聞きたい。	(個人意見) ・会社を退職して市議になった。当時中3の子供がいた。議員ではローンも組めず、共働きでやっている。50代なのでかなり現実的である。 ・20代なら44万は多いかもしれないが、逆に20～30代ならやれるのではと感じた。子供の年齢が上がってくるときついが、さらに上の60～70代ならやれるかなと思う。 ・若くして議員になり、蓄えてやっていけばよい。30代後半から50代は厳しいと実感している。 ・会社を辞めたのは制約が多いため。全うするには議員1本だと思っている。
高田区			2	・慶弔費用など参考に聞ければ。	(個人の例) ・年に30～40回の葬儀、付き合いの飲食も年に50回とかあり、これらは私費となる。 ・また、選挙費用は議員による。100万円と聞いている議員もいれば、600万円と聞いている議員もいる。
大潟区			3	・朝日新聞の調査によると、議員報酬のみで暮らしていけるのは、新潟県議、新潟市議、長岡市議くらいだろうとコメントされていた。社会保障という面で、会社員の企業態形と大きく異なる点について、現職の議員の話を知りたい。	・会社員と異なり、議員報酬の中から保険や年金を支払う必要がある。子育て世代には、やりくりが大変な議員もいる。任期が4年間のため、銀行の査定も厳しく、ローンを組むことが難しい。
大潟区			4	・高知県大川村議会での議員の兼業緩和を受け、当市議会における兼業の状況を知りたい。	・農家と兼業している議員もいるが、市域も広く、活動量も多いため、兼業は難しいと感じている議員もいる。
直江津区			5	・議員の報酬は条例で決まっているのか。人口何人で何円というものは決まっているのか。	・議員の報酬は条例で定めるが、人口何人で何円というものは決められていない
直江津区			6	・議員の報酬は普通の企業の月収から比べて高いと思う。議員としてよく動いている人は足りないと思うが、あまり動いていない人には充分であると思う。議員の動きが見えない。議員自身はどう思うか聞かせてほしい。	・子どもが3人いて、大学に通う子もおり、妻と共働きであり。落選すると収入がなくなるため、議員は子どもの教育ローンが組めない。大学に通わせるのに困っている。 ・県職員と2年間の市職員を経験していたので、恵まれていた。議員は社会保険や厚生年金もなく、自分で負担しなければならない。今の自分としては困ることはないが、貯蓄が増えることもないのでカツカツである。子育て世代だともっと大変だと思う。 ・活動量による。議会報告を毎週、支援報告を月に1回行っているが、政務活動費は月に2万5千円であり、足りない。足りない分は自分の報酬から出しており、年50万円はそういったものに使っている。
直江津区			7	・サラリーマンは賃上げする際、労働実態や生活実態を出すのが、議員の報酬は何を基準に決めたらよいか分からない。	・基準があればいいが、それがないので難しい。新潟県人事委員会が出している民間給与の実態調査によると、事務関係の職種・技術関係の職種について、例えば、平均年齢54歳の支店長78.9万円、平均年齢50歳事務課長50.6万円などである。これに比べて高いか低いかとなると仕事の量や質によるので、参考にしてほしい。
直江津区			8	・報酬の高いところは横浜市の100万円、低いところでは粟島浦村のように10万円であるが、この差は何か。	・上越市の合併前の旧町村では月額18万円、旧上越市では30万を超えていた。これは自治体の規模や仕事量、財政力で決めている。
板倉区			9	・市議の仕事は、市長に要望するイメージ。身分保障に関し、他市で何か制度はあるか。	・全国でもないのではないかと。 ・中には、福島県矢祭町のように日当制にしているところもある。

会場	質問・意見	区分	内容	意見等	回答等	
高田区	意見	報酬	増額	1	・最初、44万円ももらえるのか思ったが、話を聞いて多くないとわかりネット見たら、全国平均63万。議員に出るとなれば少ないので上げるべき。	・1期目もベテランも同額。年金、退職金など保証もない。大きいのは保険の雇用主負担相当がないこと。議員になりやすい環境を、国にも求めている。
大島区				2	・報酬について、議員をやったことがないので、いくらが適当か分からないが、必要なら増額すればよいと考える。現状から大きく増額となれば影響は大きいですが、必要な範囲で増額するなら理解してくれる人も多いのではないかと。	・意見として持ち帰る。
直江津区				3	・定数は分からないが、報酬だけで見ると上越市議会は低い。県内で議員報酬だけでやっていけるのは県議会と新潟市議会くらいである。 ・サラリーマンと違って議員は報酬が一定で、在職年数に伴って上がらない。 ・また、国民年金や国民健康保険は全額自己負担であり、家族分も払う必要があることも考慮すると低い。 ・報酬は上げたほうがよいと思う。	・意見として持ち帰る。
大潟区				4	・立候補しやすい環境づくりは、以前と状況が変わってきている。 ・生活の問題や教育ローン等の問題等が若者の立候補を阻害しているのであれば、必要な範囲で議員報酬を上げるのは賛成。	・意見として持ち帰る。
大潟区			支援制度	1	・子育て世代へ手厚い支援を	・意見として持ち帰る。
大潟区				2	・社会的な環境の整備が問題であり、議員定数や報酬は、立候補者が少ないことにあまり影響していないのではないかと。 ・例えば、落選しても再就職するまで、一年程度補助金を支給すれば、立候補する人も出るのではないかと。	・立候補者が少ない原因が議員定数や報酬だけではない事は、市議を目指しやすい環境整備検討会で議論した。現在、議会改革の中で女性フォーラムやコアモニターの取組を進めている。 ・補助金制度は、意見として持ち帰る。
大潟区			質問	定数・報酬	その他	1
高田区	1	・市議のみなさんは今の定数と報酬についてどう考えているのか。 ・現在の検討状況は、どの程度公開しているのか。 ・定数についてはどうか。				・定数も報酬も、意見は割れている。今の額では厳しく、同規模他市の比較でも上越は低い方であり、もう少し必要という意見もある。 ・人にもよるが、日頃のおつきあいや慶弔での出費、4年に一度の選挙などかなりの費用がかかる。 ・報酬をあげて、定数をそのままというのは納得を得られるかという意見もある。
高田区	2	・(減らすは本位ではないが)市民の意見も聞くスタンスなのか。極端に言えば、市民全員が減らせたら、減らすくらいなのか。				・発端は、市議に出るための環境づくり。 ・報酬は上げた方がよいという意見もあり、また、定数は人口減少を考えると減らすという意見もあった。
板倉区	3	・立候補者がいない、女性がいないという課題には、報酬や定数の増が必要という考えなのか。				・物理的課題として検討している。ほかにも、市民と議会の距離があるなどいくつかの項目で検討している。
板倉区	4	・報酬と定数をセットで考えるのは違うと思う。定数は法定数がなくなり、多いか少ないかは他団体と比較することも一つの方法。データとかはあるのか。	・人口17万から19万人の団体で、定数の平均は29人、報酬は820万円。定数は、市域が広いこともある。			

市民との意見交換会(令和元年5月22日・24日)会議記録

会場	質問・意見	区分	内容	意見等	回答等
高田区	意見	定数・報酬	定数減 報酬増	1 ・普段からみなさんを心強く思っている。こういう時期においては、報酬などあげてよいと思う。 ・我々が市に言っても予算がないで終わってしまう。報酬増は予算という問題が出てくる。難しければ、定数を減らし、報酬を上げる。	・市の予算だけ考えると、報酬だけ上げるのは、難しい面もある
直江津区				2 ・町内会長も働きながら努めるのは難しい仕事であるが、報酬は上がらない。 ・議員の報酬を上げてもいいが、その代わりに、定数を減らしてほしい。 ・現在の議員の中で、企業に勤めながら議員をしている人は何人いるのか。町内会長も働きながら努めるのは難しい仕事であるが、報酬は上がらない。 ・議員の報酬を上げてもいいが、その代わりに、定数を減らしてほしい。	・意見として持ち帰る。 ・会社員は1人である。その他に、自営業をしている人もいる。 ・13区の議員の時は報酬が少なく、自営業もやっていたが、上越市議会議員になってからは市域が広く、議員以外の仕事はできず、自営業は家族にまかせきりである。同じ人口規模の他市の中の平均月額報酬及び年収に比べ、上越市はともに低い。(参考)
板倉区				3 ・議員はやめると何も無い。市長は、退職金を何千万円ももらうのに対し、国民年金だけでは誰も出ない。身分保障がないと手を挙げる人はいない。選挙費用や辞めた後の費用などを考えれば、報酬は上げていいと思うが、市民感情も考えるとどうかとも思う。 ・定数を減らし、報酬をあげるのがよいと思う。	・しっかり参考としたい。厚生年金を要望してきているが、動きはない。
板倉区				4 ・定数と報酬は先の方の意見と同じ。定数を減らして報酬を上げる。こうしないと理解を得られない。 ・地域協議会に二人女性から出してもらっている。ここで勉強して、市議会に出てほしいと話している。少しでもわかっている人に出てもらわないといけないうし、周りがサポートしないと出る人も困る。 ・腹を割った話し合いが必要。報告会をやってほしい。市民との距離を縮めていく、理解を得る努力が必要。	・基本はどう理解していただけるか。いろいろなことを試していかないといけない。今回の定数等の課題以前に、そこをどうしていくかである。参考としたい。
直江津区				1 ・定数について、議会というものは、男女混じった色々な業種、年代の人で構成でなければならぬので、32人は適正であると感じる。 ・報酬は扶養手当などの手当がないので、年代や家族構成によっても違うのでその分を含めて検討してほしい。	・意見として持ち帰る。
直江津区	質問	定数	1 ・上越市の議員定数はずっと同じなのか。	・合併時は48人、平成24年に32人となった。地方自治法で定める人口10万～20万人未満の議員数の上限34人を基本に考えていた。当時は人口20万人であるが、今は2万人減っている。	
板倉区			2 ・女性が多い議会の情報を持っていると思うが、上越との差はなにか。閉鎖的であるとは思う。認識している点はあるか。	・女性には壁があり、社会進出しにくい風土があるのではとの議論はあった。短期間での解決はできないが、意識改革していかなければと考える。雰囲気づくりの一環として8月に女性フォーラムを開催する。	
大潟区	意見	定数	削減	1 ・議員定数は、28人か25人で良いと思う。	・意見として持ち帰る。
直江津区				2 ・定数は地域から一人ずつがいいのではないかな。	・意見として持ち帰る。
板倉区				3 ・定数は28でよいのではないかな。この人数で多ければ、また、検討していけばよい。	・意見として持ち帰る。
大島区			1 ・議員定数は、市域や行うべき活動によって考えるべき。人口減少だけを理由に定数を減らすことは違うと考える。	・意見として持ち帰る。	

市民との意見交換会(令和元年5月22日・24日)会議記録

会場	質問・意見	区分	内容	意見等	回答等	
大潟区	意見	定数	ブロック制	1	・選挙制度について、ブロック制にしてはどうか。その方がポスターや街宣等少なくて済み、費用面で節約できる。	・意見として持ち帰る。
大潟区				2	・ブロック制の検討を	・意見として持ち帰る。
大島区				3	・上越市の市域は広く、選挙活動に対して膨大なエネルギーを必要とする。一票の格差に気を付けながら、小選挙区制を検討してはどうか。	・小選挙区制を言う議員も存在する。意見として持ち帰り検討する。
大島区				4	・大島区は、人口が1,500人程度しかおらず、同区から議員が選出されるのは難しいと思っている。 ・区から1人選出されるよう、小選挙区制を検討できないか。	・意見として持ち帰る。
大島区				5	・大島区から議員がいなくなり、行政サービスの質が落ちたと思う。大島区総合事務所の職員に話をすると、「そんなことはない」と言うが、明らかに悪くなったと思う。 ・区から1人議員を選出する仕組みを考えてほしい。	・意見として持ち帰る。
板倉区				6	・産建グループのようにブロックから選出するのがよいのではないか。ブロックから選出された議員は、そのブロックの課題をしっかりと対応する。ブロックから推薦で出てもらえばよい。	・意見として持ち帰る。
高田区	質問	定数・報酬 ・政務活動費	その他	1	・仮に、定数倍、報酬半分、政務活動費増とし、1人ひとりの負担を減らす。1年の半分の労力できる。市をよくするための活動であり、会社も柔軟に。 ・知恵を出し合う。若い人が暮らしやすい、議員活動しても生活していけるよう、産業を強化。 ・地方のあり方、地域のあり方を見直さないと上越が成り立っていない。	・報酬を減らし、定数を増やし、また、政務活動費を増やすという意見としてお聞きした。
高田区				1	・政務活動費が、個人30万、会派30万となった経緯を聞きたい。	・合併時に総額60万に増額となり、30万ずつとし、マニュアルで細かく規定している。
高田区				2	・会派に配分される理由は。	・会派としての活動(会報、勉強会、意見交換会など)もある。 ・また個人も勉強しなくてはいけない。視察したり、研修に参加したり。 ・個人でも会報を出している議員もいる。 ・政務活動費では足りていない議員も多い。
高田区				3	・全然足りていないと思う。会派に所属していない議員は全額となるのか。	・所属していない議員には、会派分は出ない。会派としても活動しているから出るものである。
高田区				4	・昨年、市民も参加可能であった議員勉強会に出た。勉強会の成果が見えない議会もある。 ・本当に足りないのであれば、増額の声を出すべきである。足りているのか、足りていないのか。	(個人としての意見) ・いろいろ費用はかかる。政務活動費では足りていないが、報酬から捻出し、しっかり活動をしている。 ・若い議員は特に足りないのではないか。
大島区				5	・政務活動費の返還額は、どのくらいあるのか。	・全体の額は把握していない。会派では、体調不良の議員もおおり、返還が生じることもある。個人では、大体の議員は全て使っており、足りないくらいである。

会場	質問・意見	区分	内容	意見等	回答等	
大湍区	意見	政務活動費	増額	1	・会派で視察を行い、政策提言や条例改選に繋がれば、活動の見える化となり、政務活動費を増額しても市民は納得するのではないか	・意見として持ち帰る。
大島区				2	・政務活動費について、先払いではなく、申告後に後払いするのであれば、必要な額まで増額しても良いのではないか。	・意見として持ち帰る。
高田区				3	・政務活動費は一律いくらではなく、例えば100万円を上限として、裁量でとできないか。	・しっかりとした活動ができれば、上限を増やすという意見としてお聞きした。
大島区			1	・政務活動について、会派分をなくして、すべて個人へ分配してはどうか。会派の視察も個人の活動費を持ち寄り行ってはどうか。	・意見として持ち帰る。	
直江津区			個人増	2	・会派の政務活動費については、視察や活動報告など用途がある程度決まっており、個人は議会報告会や議会活動報告などで両方30万である。 ・個人の30万円は足りないのではないか。これは、皆さんで活動してみて、全体の金額を変えないのであればある程度柔軟にし、縛りはなくてもいいのではないか。 ・また、個人で新聞5紙取る必要はなく、個人で3紙取れば図書館で見ればよいのではないか。 ・視察で得たものはきちんと地元はどう反映させたかが大事である。	・会派は視察や議会報告が中心となる。個人は自分の知りたい場所への視察や研修使う。制約のある公金であり、もしかしたら勘違いされている市民の方もいるかもしれないが、自分のための飲食には使えないことを理解してほしい。立場上様々な会合に呼ばれるが、その会費などは全部自腹である。
板倉区				3	・政務活動費は個人30万、会派30万だが、会派の方はほとんどが視察に使っている。委員会、特別委員会の視察もあり、議会以外は視察という感じになっている。 ・会派を半分にして、報酬に回してもいいのではないか。	・ご意見としてお聞きした。政務活動費をしっかりと使っていく。
大湍区				後払い	1	・政務活動費について、後払いに変更してはどうか。
高田区			その他	1	・政務活動費を一律にする必要があるのか。32人の総額を議員からの提案で順序付けするとか、メリハリをつけるべき。独自色が見える。活動費が多ければヤル気も上がってくる。	・いい活動ができている議員には上げた方がよいが、個々の活動は見えない部分もある。ある程度見ればそうした手法も取れるが。
高田区			その他	立候補	1	・例えば、私が出馬するとした場合に、気になるのは服装である。それが通用するのか。また、視察は行かないでよいと考えており、一旦休止し再考すべきと考えている。
大湍区		2			・政治を勉強する学生へ奨学金を支給してはどうか。地元へ戻ってきて議員を目指す若者が出てくるのではないか。	・奨学金制度については、意見として持ち帰る。また、小中学生の模擬議会や議会傍聴を行う予定であり、若者の意識醸成に取り組んでいる。
大湍区		3			・議員へ立候補する人が増えるよう、政治に対する意識を持つ人を増やす努力が必要だと思う。	・意見として持ち帰る。
大島区		4			・女性をとりまく環境をよく理解し、議員に立候補できない原因と理由を考える必要があるのではないか。	・意見として持ち帰る。 ・現在、議会改革推進会議で女性フォーラムを企画している。その中でしっかり理由を整理していきたい。
大島区		5			・若い人が立候補をためらう理由がなんとなく分かる。年収もそれほど多いわけではなく、1期やっても後がどうなるか分からず、年金もない。あわせて、活動が多く体力も必要となる。それでも、人口の少ない山間地に光を当てる政治を期待する。そのためにも、人口の少ない地域からも議員が立候補しやすい環境が必要と考える。	・意見として持ち帰る。
直江津区		6			・自宅を選挙事務所にできる。ボランティアの弁当代は自費である。女性や若い人は不動産がもらいやすい。	・女性や若い人は不動産がもらいやすいといっても、大事なものは政策や主張であるので、その点だけはわかっていたいただきたい。

会場	質問・意見	区分	内容	意見等	回答等
直江津区	意見	その他	立候補	7 ・合併後人口が減っている、増える可能性はない。 ・議員という職をある程度魅力あるものにしていく必要があり、報酬を上げる必要があることは分かる。報酬を増やしたくても財政の厳しさもある。 ・将来上越も大川村のように議員になる人がいなくなるのかもしれない。	・当検討会でも、人口減少に伴い、定数を減らすべきという意見と、広い市域の住民の意見を聞く必要があるという意見の両方がある。今後議論していく必要がある。名立区や大島区、中郷区には議員がいないから道路などの問題で行政の光が当たらないという不満も住民から聞く。全市全体の議員なので、市全体の議員として頑張る必要があると考えている。
板倉区				8 ・女性の候補者は市内にもいるはず。活躍している人をヘッドハンティングする。サポートあれば出てくれるのではないかと。地域協議会を傍聴で回っているが、いいと思う女性はいらる。若者や男性でも思いのある人はいる。どう発掘するか。 ・みなさんの活動が伝わっていない。議会を各区でもモニター中継したらどうか。住民が来るのではなく、議員から住民に向かっていく、住民と一丸となって解決していくことが大事。	・意見として持ち帰る。
高田区			見える化	1 ・現実的なお話を聞いてありがたい。上越は問題ないのに、一般市民の議員に対する印象は悪い。やっていることの発信をしっかりすべきである。	(・ご意見として)
大潟区				2 ・市民にもっと議会のことを知ってもらう必要がある。議会だよりを読んでいる市民は少なく、もっと議会の見える化に取り組む必要があるのではないかと。	・意見として持ち帰る。
大潟区				3 ・私も議会だよりはあまり読んでいない。 ・議会の活動が見えてこないため、市民も余計に関心ないのだと思う。議員報酬が多いのか少ないのかも、議員の活動が見えてこない判断できない。	・議会の見える化にきちんと取り組んでいきたい。
大潟区			会の参加	1 ・議会内だけでなく、市民や学識経験者も含めて協議したらどうか。過去、協議した事はあるのか。	・本委員会では、有識者を交えての議論を検討したこともあったが実現していない。6月下旬には、有識者との意見交換会を予定している。
高田区				2 ・こうした会に初めて出たが、このような参加人数なのか。議員から声掛けしているのか。活性化の以前の問題。いろいろなところに声掛けを。	・各議員なりに声かけしている。問題が少ないからなのかどうか。 ・今日は、参加者は少なかったがいい意見をいただいてありがたい。今後もこうした会にでももらえるよう努力する。
大島区				3 ・今回の意見交換会は、参加者が少ないが、広報や周知が不足していたのではないかと。	・意見のとおり、広報や周知が不足していたかもしれない。
大島区				4 ・日中、仕事をしている若者でも意見交換会に参加しやすいよう、夜間や休日に開催してはどうか。	・意見として持ち帰る。
大島区				5 ・意見交換会の周知について、様々な方法で徹底するべきと思う。今回の参加者が少ないのは、同じ日に交通安全協会の総会と農業関係の総会が重なっており、日の設定が悪かったと思う。	・日の設定については、今後、意見交換会を開催する際の参考にする。
板倉区	6 ・今日はほかの参加者がどんな意見があるか聞いたかったが、この人数ではどうかと思う。 ・女性や若者が参加しやすいよう出張議会を検討したらどうか。傍聴すれば議会がどんなものかわかってくる。 ・議会だよりだけでは、議会でどんなことをやっているのかわからない。 ・議員個々の議会だよりは費用もかかるので、個人で議会報告会をもっとすればよい。生の声も聞ける。こうしたことをしないと進まない。	・ごもっともな意見である。市民と議員の距離は重要と認識している。 ・議会報は確かに一方通行にはなってしまう。いただいた案も参考としたい。 ・なお、土日・夜間・出張議会については検討はしているが、職員の時間外勤務の関係などにより難しい面がある。			

市民との意見交換会(令和元年5月22日・24日)会議記録

会場	質問・意見	区分	内容	意見等	回答等	
高田区	意見	その他	その他	1	・今は別々動いているが、まちづくりのプレイヤーが市議会で発言すればおもしろいのではないか。	・とてもよいことだと思う。自治が自分たちのものになると感じられる。柔軟な発想が出るのでは。 ・先日まちづくりに関わっている方々と意見交換した。市民の代表として、そうした意見を行政に伝えるのが我々の役目。以下に伝えるかが我々の課題。
高田区				2	・市議として予算書の読み込みが大変だと聞いたことがある。そこに市民を巻き込むのはどうかと市議会に言ったことがあるが意見はなかった。市民は予算書の読み込みといったことは知らない。手伝ってもらい経験してもらおう。	・各議員が意見交換するとかといったことも考えられる。
高田区				3	・なぜ若手はいないのか。私の高校は、ほぼみんな進学する。学校でアンケートを取ってみたら、上越に戻ってきたいが26%、74%は戻ってこないとの結果だった。 ・これは上越市に魅力がない、関心がないということで、上越市を知らないことが原因。若いころから地元を愛する気持ちを育成すべきだと思う。 ・(ほかの参加者からも発言)上越を出ないとわからない点もある。	・商業高校でも進学率があがってきているような現状。意見としてお聞きしたい。
大潟区				4	・市民と議員のギャップがある。議題の共有や関心の持てるような政治課題は、マスコミも取り込んでいったらどうか。	・意見として持ち帰る。
大島区				5	・委員会運営について、4常任委員会から連合審査会に変更することで、負担が少なくなるのではないかと考える。	・現在、常任委員会が負担で議員が目指せないとの声は聴いたことがない。議員としても、常任委員会が議員を続けるかどうかを決めるほど負担になっているとは感じたことがない。
板倉区				6	(一言いただければと声かけし、少し考えてようやく発言) 難しい問題だなと思った。	
板倉区				7	・コアモニターの記事を見た。活かしてってもらいたい。	・意見として持ち帰る。
高田区			地域協議会 町内会	1	・地域協議会に参加している。いらないという意見もある。これはどうにかしないといけない。	・地域協議会のあり方は、毎回のよう議論が出ており、今後も継続していく。
高田区				2	・地域協議会は年配の男性ばかりで意見も現状維持ばかり。昨年、総合計画の公募委員として参加した。レールを引かれているのでは、いくら計画を配布しても市民は生きたものと感じられない。市民のための計画となっていない。議員もこうした会には若い人を連れてくる。参加させる。今日は高校生もきているので、せっかくのこうした機会、若い人にアピールしてもらいたい。	・意見交換会のあり方として、お聞きしたい。
大潟区				3	・議会に魅力が無いと思う。政策提言もなく、議員を身近に感じられない。 ・議員が地域協議会を傍聴し、意見交換すれば、地域協議会委員の中から議員に出る方もいるかもしれない。	・議会の見える化が進んでいないことは、ご指摘のとおりである。現在、議会改革の中で、コアモニターや女性フォーラムの取組を進めている。議会報告会・意見交換会や各層との意見交換会を各地で開催し、議会に反映させるよう取り組んでいる。
大潟区				4	・地協と議員の役割分担見直す必要があると考える。市議は、将来的な市政の在り方の議論に特化し、地域協議会は、地域の課題に対する予算の執行権限を持たせたらどうか。	・意見として持ち帰る。
直江津区				5	・町内会長は地域を見ており、市会議員並の仕事をしている。市会議員は議員になる前にもっと町内会長や住民の声を聞いてほしい。	・意見として持ち帰る。
直江津区				6	・地域協議会や町内会長との意見交換会が必要である。議員がいない区があるということではなく、全市の声が議員に届くという仕組みが必要。何か困ったら議員に頼むという時代は終わっているということは市民に伝えた上で、組織として仕組みを作る必要がある。上越市議会は進んでおり、議会報告会や意見交換会をやっているが、今日もこれだけしか参加がなく、いかに市民の関心が低いかということである。議員を身近に感じてもらうため、人口減少ではなく、新しい発想を取り入れる必要がある。	・町内会の会長とも連絡を取り合いながら活動していきたい。議員は上越市全体を見ていく必要がある。だから地域密着型ではないということではなく、議会全体として意見交換会をしていく必要がある。しっかりお叱りいただきたい。

市民との意見交換会(令和元年5月22日・24日)会議記録

会場	質問・意見	区分	内容	意見等	回答等
高田区	質問	その他	1	・会社に所属したり、経営したりしている議員は、社保などの支援はあるのか。	(個人の状況及び意見) ・活動時間相当額は、給与から引かれるが、社保は対応してもらっている。そうした会社が増えればよい。 ・話は違うが公務員も出馬時に退職ではなく、当選したら退職というのがあればよい。 ・社保は対応だが、2足のわらじは、なかなか厳しい。 ・例えば、収入を補てんするためにアルバイトをすることも、夜や早朝とかになる。
大湊区			2	・これまで検討した中で、各種団体との意見交換は行ったのか。若者がどの部分でハードルが高いと感じ、立候補しないのか、その原因について議論されたのか。	・市議を目指しやすい環境整備検討会では、様々な団体や市民との意見交換を行い、若者が立候補しない原因を検討した。立候補を阻害している原因の一つとして、議員報酬の適正化があり、本委員会で検討を重ねている。
大湊区			3	・来年の市議会議員選挙に向け、本検討委員会をどのような形で進めていくのか。	・選挙を前提とはしていない。今回の意見交換会で出た意見を持ち帰り、委員間で協議し、結論を議長へ提言する。報酬を変更するとすれば報酬審議会へ諮問を要請し、定数を変更するとすれば条例改正を行う。
大湊区			4	・モニターアンケート調査について、回答率が低いこと、議会に対する満足度が低いこと、傍聴経験がない人の割合が多いこと、この結果を受け、議会としてどう考えているのか。	・コアモニターや小中学生へ出前講座を開催し、興味を持ってもらえる取組を行っている。
直江津区			5	・議員になった経緯を聞きたい。	・地域のために何かしたいと思った。働きながら議員は難しいと思い、50歳前に退職して議員になった。家族もいるが、応援してもらえた。 ・高校卒業後、ずっと仕事で転勤しており、地元にいなかった。退職後に地元に戻り、地域に何も貢献していないことに気づき、このまま安定した人生を過ごすのはいけないと思い、議員になった。 ・住民のために暮らしや福祉、安心・安全を守るため何かしなければと思い議員になった。
直江津区			6	・皆さんの出身地はどこか。	・浦川原区出身、在住。 ・板倉区出身、在住。 ・岩手県出身、頸城区在住。
直江津区			7	・市議会議員になりたかったが、仕事もあり、家族から反対され、なれなかった。高校生の子もいるので、これからお金もかかるので大変である。選挙の時は具体的にどの位かかるのか。	・新人で400万円、ベテランになると200万円くらいではないか。 ・議員によって全く違うが、党の所属議員は党からある程度出る。自分の場合は政策が記載されたリーフレット作成にかかるお金がほとんどであり、後は選挙ボランティアへのお弁当代である。ポスターや宣伝カーの借上げなどは市の補助がある。やろうと思えば50～100万円くらいでもできる。 ・お金があまりかけられなかったもので、100万円以下くらいである。車は自分の車を使用し、地域の活動や少年サッカーの講師もやっていたので、教え子が協力してくれた。お金をかけずに地域の人と一緒にやった。 ・供託金は30万円かかる。得票数により、返還してもらえる。
板倉区			8	・この意見交換会の内容は、議会改革についてなのか、定数・報酬政務活動費についてなのか？	・「市議を目指しやすい検討会」から大きく5つの提言がなされた。今日は、その中の定数・報酬・政務活動費に絞った会である。